

## 初参加で金メダル！ 1996アトランタパラリンピック自転車競技

第10回目の1996アトランタパラリンピック大会が、8月15日～25日（11日間）、アメリカ・ジョージア州で開催された。日本として初めての自転車競技への参加であったが、金メダル1個、銅メダル2個を獲得するという、記念すべきパラリンピック大会となった。

自転車競技は、8月17日～22日（6日間）、アトランタ郊外にあるストーンマウンテンパーク内で開催され、世界から参加国25カ国、参加選手延295人という大きな規模で開催された。トラックレースとロードレースが実施されたが、その内、日本選手の出場したロードレースについて次のとおり概要を示す。

なお、アンダーラインで示したところが日本選手の参加した種目である。

- (1) 三輪ロードレーサ（脳性まひ）
  - a. 1500mタイムトライアル
  - b. 5000mタイムトライアル
- (2) ロードレーサ [二輪]（脳性まひ）
  - c. 20kmロードレース
  - d. 5000mタイムトライアル
- (3) ロードレーサ [二輪]（肢体不自由）
  - e. 65/75kmロードレース
  - f. 55/65kmロードレース
  - g. 45/55kmロードレース
- (4) タンデムロードレーサ（視覚障害）
  - h. 50/60kmロードレース
  - i. 100/120kmロードレース
  - j. 60/70kmロードレース

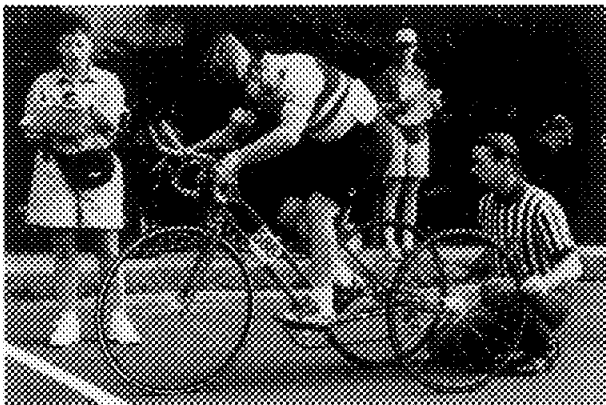


写真 三輪ロードレーサ

当協会では、1993年（平成5年）より4年間のプロジェクトとして、1996年のアトランタパラリンピックの自転車競技出場に向け、自転車機材の開発、改良と貸与を行ってきたが、初参加にもかかわらず、日本選手の全成績は次のとおりすばらしいものであった。

- 小川睦彦選手／三輪ロードレーサ／東京都
  - 1500mタイムトライアル
  - 第3位・銅メダル 2分56秒00
  - 5000mタイムトライアル
  - 第1位・金メダル 10分15秒00
- 前田昭治郎選手／ロードレーサ [二輪]／福岡県
  - 20kmロードレース
  - 第4位 36分52秒
  - 5000mタイムトライアル
  - 第3位・銅メダル 8分29秒31

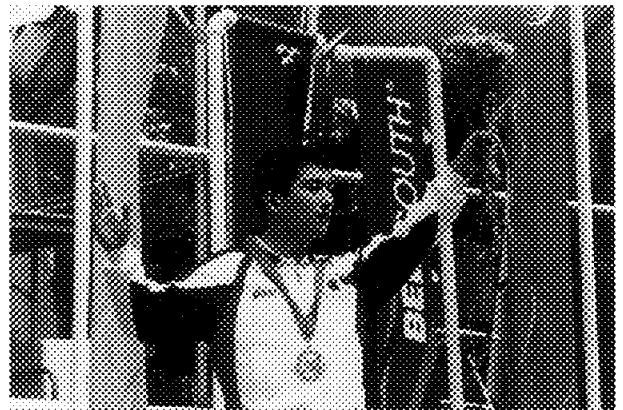


写真 表彰式

4年後のシドニーパラリンピックに向け世界は動き出しているが、当協会もシドニーでは、今なお未出場であるトラックレースとロードレースのタンデム競技でもメダル獲得を目指し、今、新しい4年間のプロジェクトを始めたところである。

（本部生産技術部 伊崎智弘）